

4-1 地域資源について

(3月28日更新)

地域資源は、ここではハード面における地域の公的施設・設備、ソフト面における地域人材などを示します。ここでは、アンケート調査結果データを複合的にかけあわせています。

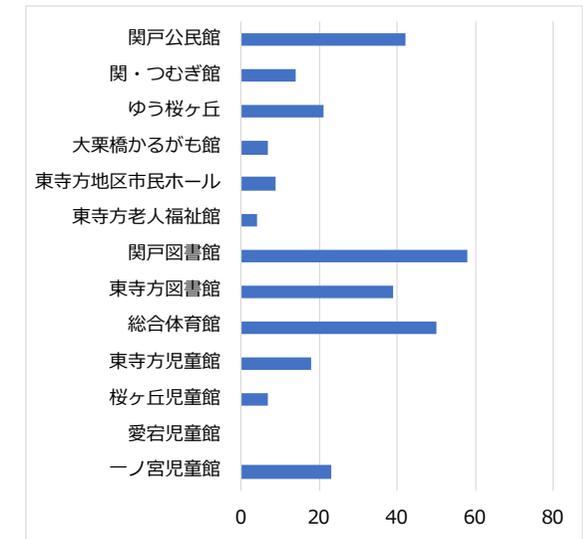
居住エリア別公共施設利用については、図24(a)～(d)のとおりです。横軸は回答数を表します。東寺方(a)では、聖蹟桜ヶ丘駅前にある関戸図書館と関戸公民館、及びエリア内に立地する総合体育館と東寺方図書館へのアクセスが多いことがわかります。

桜ヶ丘(b)は、いろは坂上付近にある、ゆう桜ヶ丘・桜ヶ丘児童館の他は、東寺方と同様の傾向がみられます。

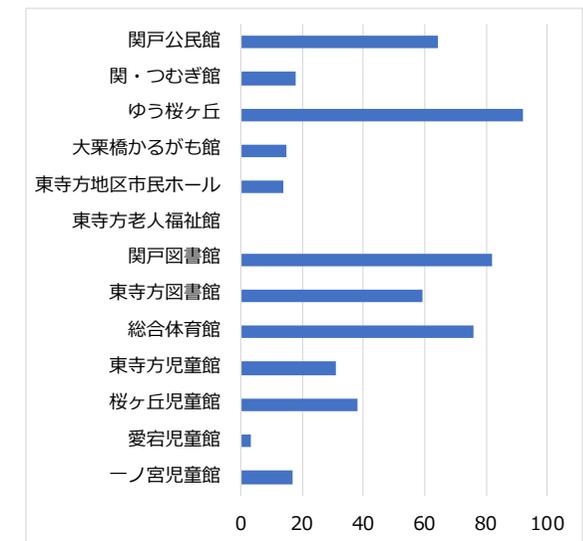
落川(c)については、関戸公民館がやや減少するほかは、東寺方や桜ヶ丘と同様です。一ノ宮(d)は、上記のほか、一ノ宮児童館及び関・つむぎ館の利用も一定数あります。

公的施設利用について世代別でまとめたものが図25です。横軸は回答者世代によって回答数に偏りが生じないように、百分率に換算して表示しています。関戸公民館のように世代が高くなりつれて他の施設に対する利用比率が高くなっている施設や、大栗橋かるがも館のように現役世代で多く利用されている施設など、様々な特徴がみられます。

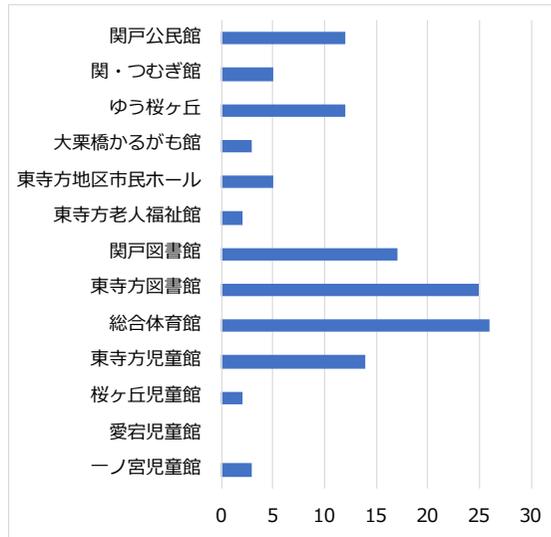
図24(a) 東寺方



(b) 桜ヶ丘



(c) 落川



(d) 一ノ宮

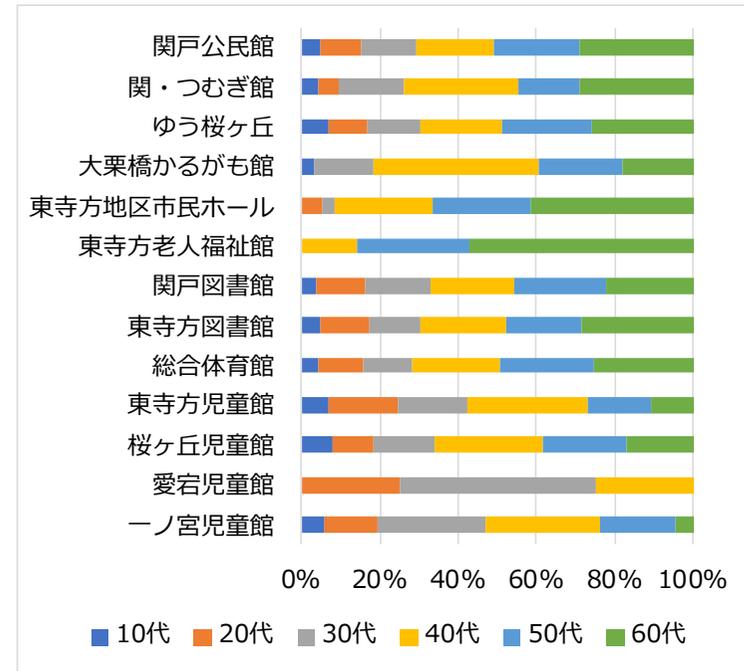
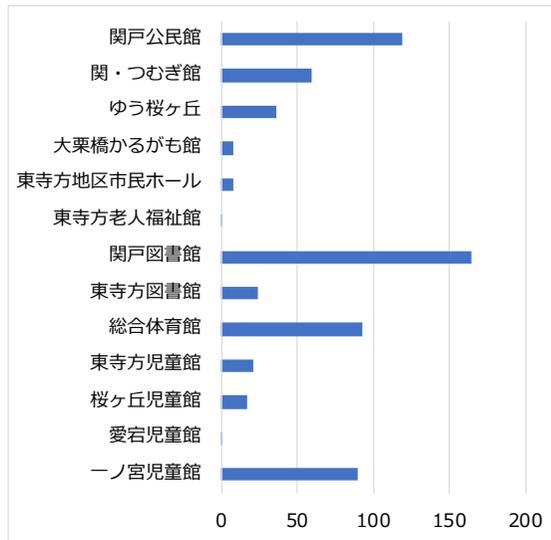


図 25 世代別施設利用状況



関戸公民館から右方に雪化粧の富士山